

# 会議録

会議の名称	山形市地域包括ケア推進協議会	
日時	令和7年7月17日（木）午後3時から	
場所	山形市庁舎 11階 大会議室	
議題	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山形市地域包括ケア推進協議会設置要綱の一部改正について</li> <li>・地域包括支援センターの活動状況について</li> <li>・令和7年度地域包括支援センター評価事業について</li> <li>・山形市介護予防・日常生活支援総合事業の見直しの考え方について</li> </ul> <p>【協議】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第9期介護保険事業計画及び一般介護予防評価事業（令和6年度分）の進捗状況等について</li> <li>・地域包括支援センター職員の育児短時間勤務の利用について</li> <li>・地域包括支援センターにおける指定介護予防支援事業等の委託先について</li> </ul>	
出席者	今野厚志 委員、門脇徹 委員、長瀬武久 委員、高橋邦之 委員、高田元 委員、筒井伸 委員、菅野弘美 委員、横倉克則 委員、丹野克子 委員、五十嵐元徳 委員、藤澤睦夫 委員、松田幸子 委員、滝口明子 委員、熊坂聡 委員、大竹まり子 委員 （欠席：大江祥子 委員）	
傍聴者の数	1人	
審議経過	下記のとおり	
提出資料	資料1 - 1	山形市地域包括ケア推進協議会設置要綱の一部改正について
	- 2	育児時間に伴う短時間勤務制度の利用について
	資料2 - 1	地域包括支援センター相談実績等（4月～3月）
	- 2	令和6年度山形市地域包括支援センターの概要
	- 3	令和7年度山形市地域包括支援センター事業計画
	資料3	令和7年度地域包括支援センター評価事業について
	資料4	山形市介護予防・日常生活支援総合事業の見直しの考え方について（案）
	参考資料4 - 1	山形市高齢者保健福祉計画（第9期介護保険事業計画） 第5章 施策の展開 抜粋
	資料5 - 1	山形市高齢者保健福祉計画（第9期介護保険事業計画） 令和6年度 評価結果
	- 2	令和6年度進捗状況及び評価
	- 3	令和6年度各施策の取組状況
	資料6	地域包括支援センター職員の育児短時間勤務の利用について
	資料7	地域包括支援センターの設置者が指定介護予防支援等に係る業務の一部を委託することができる指定居宅介護支援事業者について
	参考資料7 - 1	指定介護予防支援事業等の受託可能事業所一覧
その他資料1	第10期介護保険事業計画の策定日程について	

	その他資料2	介護保険事業の実施状況について（令和7年3月）
	その他資料3	ケアプランデータ連携システムフリーパスキャンペーン

## 1 開会

## 2 あいさつ

## 3 報告

**事務局** 今回、3名の委員に新たに就任いただいた。また、事務局にも変更があったので、名簿をご確認いただきたい。

それでは、「3 報告」に入る。協議会の会議は、設置要綱第5条の規定に基づき、会長がその議長になることとされているので、今野会長、議事進行をよろしく願いたい。

### (1) 山形市地域包括ケア推進協議会設置要綱の一部改正について

**議長** では、「(1) 山形市地域包括ケア推進協議会設置要綱の一部改正について」、事務局から説明をお願いしたい。

**事務局** -資料1-1～資料1-2に沿って説明-

**議長** 以上、事務局から説明があったが、委員の皆様から、ご質問ご意見等あればお願いしたい。

**委員** 承認と協議の違いは何か。また、今般の変更により、本協議会の役割に何か変化があるのか。

**事務局** 承認では、市から本協議会にお諮りし、本協議会において承認いただく一方で、協議では、本協議会から意見を得た後に、その意見を参考に市が決定していくことになる。本協議会において協議いただくのは変わらないが、協議した後の取扱いについて変更が生じることになる。

### (2) 地域包括支援センターの活動状況について

**議長** では、「(2) 地域包括支援センターの活動状況について」、事務局から説明をお願いしたい。

**事務局** -資料2-1～資料2-3に沿って説明-

**議長** 以上、事務局から説明があったが、委員の皆様から、ご質問ご意見等あればお願いしたい。

**委員** 資料2-1の2ページ目、地域包括支援センターごとの相談内容について、地域包括支援センター大森における介護保険の相談件数が86件と他のセンターと比べ少ないが、何か理由があるのか。

**事務局** 当圏域における高齢者数が少ないということが考えられる。今後、地域包括支援センターに対する市のヒアリングを通じて確認したい。

**委員** 地域包括支援センターごとの事業計画によれば、学生の受け入れを記載しているところは1か所しかない。学生の受け入れは、地域包括支援センターの主要な事業ではないのかもしれないが、次の人材を育成することは非常に大事と思うので、市においてその点を評価いただきたい。

**事務局** おっしゃる通り、介護人材の確保についても課題であるので、そうした視点も持つようにしたい。

委員 地域包括支援センターごとの相談件数を見ると、前年と比べ減少しているところが多くある。このことについて、市はどう評価しているのか。これは良い傾向なのか、あるいは地域包括支援センターが相談してもあまり意味がないと見られているのか、

事務局 例えば山形西部地域包括支援センターでは、前年比 18%ほど減少している。この要因の分析を試みたが、明確な理由はわからなかった。さらに毎月の件数を確認したところ、特定の月に減少したわけではなく、毎月少しずつ低かった状況だ。同圏域では、一時期に新型コロナウイルス感染症の影響を受けて相談件数が減り、その後毎年増加してきた状況があり、最近になってそうした状況が落ち着いて相談に対応していると分析しているところ。

委員 仕事と介護の両立に関する相談が増えている。山形市ケアマネジメント基本方針においても、仕事と介護の両立に関する支援が明記されており、非常に課題としても大きく、ケアマネジメントにおける拡大された役割を考えている。これは、介護離職をしなくて済むための相談と捉えてよろしいか。

また、仕事と介護の両立やダブルケア、8050 問題は家族に関する相談、家族支援であるから、非常に重要だと思う。特に、その相談が増えているということは、これまで相談窓口がわからなかった人や、相談してもいいという考えを持たなかった人が相談していると考えられる。地域包括支援センターは大変かと思うが、重要な役割を担っていると思う。今後もよろしくお願いしたい。

事務局 前者についてはおっしゃるとおりである。後者については、相談内容として重要と考えているので、項目を別に設けて集計しているところである。

委員 地域包括支援センターの事業計画について、例えば明治地区の関係機関の数と山寺地区の関係機関の数の記載がある。これまで、地域ごとに包括的な支援の仕組みを構築することが考えられているわけだが、関係機関が非常に少ない地域があり、言い換えると関係機関の分布に偏りがあると言える。市は、この点をどう考えているか。

事務局 委員ご指摘のとおり、地区ごとに見れば偏りがある。地域包括ケアシステムの概ね 30 分以内に必要な支援が提供される日常生活圏域という観点から見れば、委員ご指摘の地区は、複数の地区を合わせて1つの圏域となる。基盤整備等にあたっては、圏域ごとに計画していることから、地区ごとではこうした偏りが見られることもある。地域包括ケアという観点からは、圏域単位で進めることを基本としており、地区ごとの偏りについては地区を合わせる等の工夫の中で対応していくと考えている。

委員 圏域単位で包括的な支援システムを考えていることを理解した。関係機関の数に偏りがあると思うので、今後、介護系の機関・事業所などの設置の際には、そうした点の配慮があっても良いと思う。

委員 今年度から、個別避難計画の作成として、全市的に取組を進めているところかと思う。しかし、本計画でその旨を記載しているセンターは少ないと感じる。このことについて、地域包括支援センターはどのような取組を進めるのか。

また、多忙な地域包括支援センターにおける ICT や DX についても、ほとんど記載がない。これは法人によって様々な考え方があると思うが、市としてそうした取組を後押しすることが

必要だと思う。

**事務局** まず個別避難計画作成事業では、要支援者の方を災害時にどなたが支援するのかという場面で、ケアマネジャーが地域の情報を持っていないことが想定され、個別避難計画を作成する中でネックとなる。地域包括支援センターには、そうした場合に支援者のご相談、地域の避難関係者の紹介などを行っていただく役割をお願いしている。

また、生産性向上については、地域包括支援センターも対象としているので、生産性向上に繋がる情報提供やICT化を、他の事業所と合わせて進める予定である。また、今年度の地域包括支援センターに対するヒアリングを通じて、業務上の課題や負荷について確認したい。これまでの具体的な取組としては、例えば、地域包括支援センターから市に対する実績報告の様式の簡略化や、ケアプランデータ連携システムの利用促進に努めているところ。

**委員** ケアプランデータ連携システムは、将来的には介護情報基盤に統合される話を聞く。市では、介護情報基盤にはどのように取り組むのか。

**事務局** 委員ご指摘のとおり、ケアプランデータ連携システムが介護情報基盤に組み込まれることについては、国から事務連絡が発出されていると承知している。

一方で、介護情報基盤については、令和8年度から実施する旨、国から事務連絡が来ているところであるが、詳細な事務連絡等についてはまだ発出されていないというような状況であるから、国からの情報を引き続き注視しながら対応について検討したい。

**委員** 生産性向上や業務改善の効率化の観点から言えば、それは非常に大きなトピックスだと思う。市としても、できるだけ早期に介護情報基盤を開始できるよう、また、具体的にどのように業務の効率化に資するのかということ地域包括支援センターも含めて居宅介護支援事業所やサービス事業所などに対しての周知を、強力に進めてほしい。

**事務局** 各課に跨るような業務であるから課同士の連携を密にして、関係する外部の事業者などへも周知に努めたい。また、国からの連絡を漏れなく確認しながら、必要な対応に努めたい。

**委員** 例えば、地域包括支援センターふれあいの事業計画は2ページ構成である。一方で、他のセンターを見ると、業務を全て書き出しているところもあり、センターごとに事業計画の書き方に違いがあると見受けられる。この点、市はどのように指導しているか。

**事務局** 事業計画の書き方については、大まかにしか伝えていない状況であるから、今後、センター間での整合性が取れるようにしたい。

**委員** 書き方の考え方について、行政が整理し指導した方が良いと思う。また、地域包括支援センターの運営は委託事業であるから、行政としてやらなければならない基本的かつ平準化された業務がある。さらに、その地域の特性によって特化したものが、業務に追加されるということだと思う。したがって、例えば、基本的かつ平準化された部分は、当然の事業として書かない方法。一方で、計画を書く側に配慮して、センターがやるべきことを全部書き出してもらうという方法も考えられるから、その点を示してはいかがか。

**事務局** ご意見を参考に検討したい。

**委員** 市老人クラブ連合会の地区会長に、相談や参加があるかと聞いたところ、半分くらいの地区が、老人クラブにはないという結果だった。そうした実態を把握した上で対応を考えていきたいと思うが、市はどう考えるか。

**事務局** 老人クラブについては、生きがい・健康づくり、多様な社会参加の機会を含め、非常に重要と捉え、市からも補助により支援しているところ。地区によって活動に差異があることから、まずはその状況について事務局及び役員の皆様と話し合う機会を設けることを検討していく。

**委員** 市の方針として、高齢者福祉や健康に関する施策を進めていることには感謝を申し上げる。地域には元気な高齢者や様々なボランティアに協力したいという方々がたくさんいる。そうした方々や老人クラブが持つパワーを是非活用していただきたい。

### (3) 令和7年度地域包括支援センター評価事業について

**議長** では、「(3) 令和7年度地域包括支援センター評価事業について」、事務局から説明をお願いしたい。

**事務局** ー資料3に沿って説明ー

**議長** 以上、事務局から説明があったが、委員の皆様から、ご質問ご意見等あればお願いしたい。  
ー質問・意見等なし

### (4) 山形市介護予防・日常生活支援総合事業の見直しの考え方について

**議長** では、「(4) 山形市介護予防・日常生活支援総合事業の見直しの考え方について」、事務局から説明をお願いしたい。

**事務局** ー資料4及び参考資料4-1に沿って説明ー

**議長** 以上、事務局から説明があったが、委員の皆様から、ご質問ご意見等あればお願いしたい。  
ー質問・意見等なし

## 4 協議

### (1) 第9期介護保険事業計画及び一般介護予防評価事業（令和6年度分）の進捗状況等について

**議長** それでは、(1)の「第9期介護保険事業計画及び一般介護予防評価事業（令和6年度分）の進捗状況等について」だが、毎年度山形市において点検・分析・評価を行い、本協議会に報告し、意見を伺うもの。評価方法に沿って事務局が行った評価や分析等について、委員の皆様には、ご意見・ご質問を伺う形となる。

では、評価結果を1枚にまとめた資料5-1を用いて事務局から説明の後、委員の皆様のご意見ご質問を伺っていく。計画全体に係るもので量が膨大なので、分けて協議を進めようと思う。では、「I 数値目標等の進捗状況及び評価」について事務局から説明をお願いしたい。

**事務局** ー資料5-1、資料5-2に沿って説明ー

**議長** それでは、「I 数値目標等の進捗状況及び評価」について、ご意見を伺っていく。今、説明があったように、「全体の目標」については「C」、「ビジョンの目標」については「B」、「給付費適正化の取組目標」については「A」の評価となっている。これらの評価結果を踏まえ、取組内容や要因分析等についてご質問・ご意見があればお願いしたい。

ー質問・意見等なし

**議長** それでは、「I 数値目標等の進捗状況及び評価」について、ご意見が無かったものとして、事務局において、適切に対応していただきたい。

**議長** では次に、「II 介護給付費等対象サービスの種類ごとの量の見込みの進捗及び評価」につ

いて、事務局から説明をお願いしたい。

事務局 ー資料5-1、資料5-2に沿って説明ー

議長 それでは、「Ⅱ 介護給付費等対象サービスの種類ごとの量の見込みの進捗及び評価」についてだが、「要介護（要支援）認定者数の推移」では「A」、「介護給付費等総額の推移」では「B」の評価となっている。この評価結果を踏まえ、取組内容や要因分析等についてご質問・ご意見があればお願いしたい。

ー質問・意見等なし

議長 それでは、「Ⅱ 介護給付費等対象サービスの種類ごとの量の見込みの進捗及び評価」について、ご意見が無かったものとして、事務局において、適切に対応していただきたい。

議長 では次に、「Ⅲ 一般介護予防事業評価事業定量的指標評価項目の進捗状況及び評価」について、事務局から説明をお願いしたい。

事務局 ー資料5-1、資料5-2に沿って説明ー

議長 それでは、「Ⅲ 一般介護予防事業評価事業定量的指標評価項目の進捗状況及び評価」についてだが、「総合事業（全体）」、「総合事業（介護予防・生活支援サービス事業）」、「総合事業（一般介護予防事業）」すべて、「A」の評価となっている。この評価結果を踏まえ、取組内容や要因分析等についてご質問・ご意見があればお願いしたい。

委員 資料5-2の21ページ目、ストラクチャー指標の②の項目（定量的指標）に書かれている連携は、非常に大事なことだと思う。これまで私が申し上げてきた若年者からの介護予防の取組の面と、健康増進、市民活動推進、社会教育やスポーツ振興の面は非常に関係していると思う。この部分の評価がBで、その理由を読むと、庁内で制度や役割の共有にとどまっているようだ。このことは、制度や役割の共有にとどまりつつも、制度や役割の共有には至っていると読み替えることもできると思う。本件、Aの評価となるためにどのように考えているのか、どのような取組ができるとAの評価となるのかお尋ねしたい。私は、制度や役割の共有だけにとどまらず、一緒に協力してやっていく協働をできるようになればAの評価であると考えているがそういった理解でよろしいか。

事務局 委員ご指摘のとおりである。内部で協議の上、現状はまだAとは言えないとの結論となった。社会教育やスポーツ振興、産業等の担当部局との連携に取り組み、具体的な事業の中で役割を分担して共同で実施し、その事業の効果が出てくればAの評価となると考える。

委員 高齢者と若年者と子どもという世代間交流を行うことが、認知症の予防になるという知見も出ていることを考えると、こうした取組はより重要になると思うので、よろしくをお願いしたい。

事務局 医療福祉分野についての取組は一定程度進んでいると認識しているが、例えば教育、スポーツ振興、産業等の若年者からの取組が途上と捉えている。来年度にかけて、市町村認知症施策推進計画を検討するが、その中でも多方面の横断的な連携・協働による対応は非常に重要だと考えているので、なお検討を深めたい。

委員 今般は自己評価であるが、その他に他者評価はあるのか。

また、自己評価のための指標は、国の基準等、一定のものがあるのか。

事務局 他者評価はない。

また、第8期計画では、計画目標値に対して達成できたかどうかの評価を行っていた。一方

で、第9期計画では、数字だけでは見えないような評価や課題を、市以外の方々に検討いただくために今般のような自己評価を行っている。自己評価にあたっては、内部での検討を経て行っているところ。

議 長 それでは、「Ⅲ 一般介護予防事業評価事業定量的指標評価項目の進捗状況及び評価」について、ご意見を踏まえ、今後、事務局において、適切に対応していただきたい。

議 長 では次に、「Ⅳ 【参考】施策の進捗状況」について、事務局から説明をお願いしたい。

事務局 ー資料5－1～資料5－3に沿って説明ー

議 長 それでは、「Ⅳ 【参考】施策の進捗状況」についてだが、ご質問・ご意見があればお願いしたい。

委 員 資料5－3の8ページ目、(5) 社会参加・健康づくりの推進の中で、シルバー人材センターの支援があるが、シルバー人材センターは市が委託しているのか。また、登録の人数は増えているのか。

事務局 山形市シルバー人材センターは公益社団法人であり、市からはその運営に対して補助を行っているところ。会員数は足元では増加傾向にある。シルバー人材センターでは、女性会員比率の向上を課題として取り組んでいるところ。

委 員 私の友人は最近シルバー人材センターに登録したが、仕事を割り当てられていないと聞く。従事する会員の選定の状況について教えていただきたい。

事務局 会員がお住まいの地域や、熟練度等様々な選定の仕方が考えられる。個人に関するご質問であるので、別途、シルバー人材センターに個別に確認してほしい。

委 員 山形市生活お役立ちガイドブックナビべんりだずがインターネットで見られるようになったり、ハラスメント対策マニュアルが作られたりして、本協議会で意見を述べたことが、着実に実現していると感じる。行政の皆さんが頑張っていると思う。

委 員 資料を全体的に見て、介護予防に重点を置いた政策を通じて、要介護者の増加を抑制し、結果として介護費用も抑えられている形となっており、政策が効果を上げていと読み取った。一方で、地域包括支援センターの業務の多さや住民主体活動を盛り上げていくことの難しさが課題と言える。

在宅生活を支援することは、経済的な面や自立度の面でとても重要であると改めて思った。山形市には現在、特別養護老人ホームが15か所あるが、人口動態や入退所の状況に照らして箇所数は適切に思う。在宅生活の支援に関する政策が今後も推進されれば幸いである。

議 長 それでは、「Ⅳ 【参考】施策の進捗状況」について、ご意見を踏まえ、今後、事務局において、適切に対応していただきたい。

## (2) 地域包括支援センター職員の育児短時間勤務の利用について

議 長 次に、「(2) 地域包括支援センター職員の育児短時間勤務の利用について」、事務局から説明をお願いしたい。

事務局 ー資料6に沿って説明ー

議長 以上、事務局から説明があったが、委員の皆様から、ご質問ご意見等あればお願いしたい。  
ー質問・意見等なし

議長 それでは、「(2) 地域包括支援センター職員の育児短時間勤務の利用について」、ご意見が無かったものとして、事務局において、適切に対応していただきたい。

### (3) 地域包括支援センターにおける指定介護予防支援事業等の委託先について

議長 次に、「(3) 地域包括支援センターにおける指定介護予防支援事業等の委託先について」、事務局から説明をお願いしたい。

事務局 ー資料7及び参考資料7-1に沿って説明ー

議長 以上、事務局から説明があったが、委員の皆様から、ご質問ご意見等あればお願いしたい。  
ー質問・意見等なし

議長 それでは、「(3) 地域包括支援センターにおける指定介護予防支援事業等の委託先について」、ご意見が無かったものとして、事務局において、適切に対応していただきたい。

## 5 その他

議長 その他、事務局及び委員の皆様から報告事項等はあるか。

事務局 その他資料の提供として、その他資料1からその他資料3までを配布している。後ほどご覧いただきたい。

## 6 閉会